



かしましろう 鹿島小 2022



タブレットを使った社会の授業

令和4年度 重点目標「よくきき よく考え 認め合おう」

全校集会より

今週の全校集会では、「ふくしのスローガン」優秀賞と少年野球の「相馬市長杯」優勝の二つの表彰を行いました。

「ふくしのスローガンコンクール」では応募総数310点の中から二人の作品が選ばれました。

『目と目があって マスクの下は にっこり笑顔』 但野 琉歩さん (5年生)

『思いやり 気持ち一つで 変わる町』 高野 遥吏さん (6年生)

どちらも心が優しくなれるすてきな作品ですね。このような気持ちをいつも忘れずに過ごしていきたいと思いました。



また、野球スポーツ少年団は、夕方遅くまで練習に励む姿が多く見られます。日頃の練習の成果ですね。次回も頑張ってください。



(スポーツの秋です。野馬追いの里健康マラソン大会などにもチャレンジしてみてもは？締め切りは9月15日です)

(ちょっと裏話・・・) 今回も全校集会をリモートで行いました。タブレット操作の練習もかねて、一人一台でつないで全校集会をやろうと思いましたが、失敗しました。理由は、一度につなげられる人数は100人までだったのです。全校児童320人は無理でした。しかし、こういったことも、やってみなければ分からなかったことだと前向きに捉え、次回のチャレンジへ。

ご家庭で新聞は読まれますか？

インターネットニュースと新聞の違いはいろいろあると思いますが、私が思うことの一つは、「興味の無い分野のニュースや情報にも触れられる」ことが、新聞の良さだと思います。

本校の図書室には、写真のような新聞コーナーが掲示されています。右側は新聞の見出しや構成についてわかりやすく説明しています。左側は、その日に出される算数のチャレンジ問題だったりクロスワードパズルだったり脳トレ問題です。子ども新聞ならではの面白い内容です。ご家庭でも機会があれば、親子で新聞に目を通して新たな発見や話題を家族の会話に取り入れてみてはいかがでしょうか。タブレットも新聞も、それぞれの良さを子どもたちに教えていきたいですね。



図書室の新聞コーナーです